

スポーツ科学部

試験日 一次選考 9/24(水)
二次選考 10/10(金)

募集人員

学部	学科	入学定員	募集人員
スポーツ科	スポーツ科	225	35
	健康運動科	70	5

出願資格

専願制 各学科を第一志望とする者で、合格の場合は必ず入学することを条件とします。
アスリート特別選抜との併願はできません。

- 次の1～3の各要件を満たす者
- 高校時代あるいは社会人時代などに競技スポーツ活動に積極的に取り組んだ者
 - 以下のいずれかに該当する者
 - 競技スポーツの普及発展に大きく貢献する指導者を目指す者
 - スポーツ科学の研究を目指す者
 - 地域、産業、医療・福祉、保健の分野でのレクリエーション指導者と健康づくり運動指導者を目指す者
 - 優れた競技力を有し、専門の競技スポーツの継続・向上を目指す者
 - 以下のいずれかに該当する者
 - 高等学校または中等教育学校を卒業した者および令和8年3月卒業見込みの者
 - 通常の課程による12年の学校教育を修了した者および令和8年3月修了見込みの者
 - 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者および令和8年3月31日までにこれに該当する見込みの者
 - 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者および令和8年3月31日までに修了見込みの者、またはこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
 - 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者および令和8年3月31日までに修了見込みの者
 - 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者および令和8年3月31日までに修了見込みの者
 - 文部科学大臣の指定した者
 - 高等学校卒業程度認定試験（旧規程による大学入学資格検定を含む）に合格した者および令和8年3月31日までに合格見込みの者で、令和8年3月31日までに18歳に達する者
 - 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和8年3月31日までに18歳に達する者（希望する者は、事前に本学入学センターに問い合わせること）

※スポーツ科学科入学者は、校友会活動などで競技力をさらに高めるものとします。

総合型選抜の流れ

1 出願 9/1(月)～9/8(月)

入試要項を「入試情報サイト」でダウンロードし、出願の流れに沿って出願登録してください。
登録完了後、入学検定料を納入し提出書類（出願確認票、自己推薦書、スポーツ実績証明書※、志望理由書、調査書）を郵送してください。
※スポーツ実績証明書は、スポーツ科学科志願者のみ提出
一次検定料…10,000円

2 一次選考 9/24(水)

提出書類（自己推薦書、スポーツ実績証明書※、志望理由書、調査書）により総合的に選考します。（来学の必要はありません）
※スポーツ実績証明書は、スポーツ科学科志願者のみ提出

3 一次選考合格発表 10/1(水)

一次選考合格者は二次選考に出願登録してください。
登録完了後、二次検定料を納入し、二次選考受験票を印刷してください。
二次検定料…22,000円

4 二次選考 10/10(金)

スポーツ科学科
体育実技における競技力、面接（自己PRを含む）により総合的に選考します。
〈体育実技について〉 専門実技試験または体力・運動能力試験
体育実技
〈専門実技試験（16競技種目から1種目選択）〉 陸上競技、体操競技、水泳、新体操、柔道、剣道、レスリング、バスケットボール、バレーボール、ハンドボール、サッカー、ラグビー、卓球、硬式テニス、ソフトテニス、硬式野球
〈体力・運動能力試験（5種目）〉 50m走、ハンドボール投、立ち幅跳、反復横跳、20mシャトルラン（往復持久走） ※5種目すべてを受験してください。なお、評価の対象は5種目のうち記録上位の3種目とし、専門競技における競技歴も考慮します。
健康運動科学科
グループディスカッション、面接（自己PRを含む）により総合的に選考します。

5 二次選考合格発表 11/1(土)

アスリート特別選抜

試験日 一次選考 10/21(火)
二次選考 11/4(火)

募集人員

学部	募集人員	学部	募集人員	学科	募集人員
人文	4程度	商（商二含む）	7程度	スポーツ科	48
法	7程度	理	2程度	健康運動科	2
経済	7程度	工	3程度		

競技種目について

陸上競技、体操競技、水泳、新体操競技、柔道、剣道、レスリング、バスケットボール、バレーボール、ハンドボール、サッカー、ラグビー、バドミントン、卓球、硬式テニス、ソフトテニス、ソフトボール、硬式野球、ヨット、準硬式野球、アイスホッケー、空手道、重量挙げ、スケート、水上スキー、なぎなたの26競技種目
※ 募集するスポーツ競技種目以外の者の出願については、学生課にお問い合わせください。

出願資格

専願制 合格の場合、必ず入学することを条件とします。

- 次のすべてに該当する者
- 原則として令和8年3月に高等学校または中等教育学校を卒業見込みの者
 - 志望する学部での勉学を強く希望する者で、本学在学中は校友会体育部に所属し、当該スポーツ活動を継続して行う意志と能力を持つ者
 - 以下の学業成績と競技成績の両方の基準を満たす者

1 学業成績に関する基準

- 次の各学部（学科）の要件を満たす者
（全体の学習成績の状況は令和7年9月1日以降発行で最新のもの）
- **人文学部**
全体の学習成績の状況3.0以上の者、さらに、次の要件を満たす者
- 文化学科は英語の評定の平均または国語の学習成績の状況3.5以上の者
 - 歴史学科は日本史探究、世界史探究のいずれかの評定の平均4.0以上の者
 - 日本語日本文学科は国語の学習成績の状況4.0以上の者
 - 教育・臨床心理学科は国語または数学の学習成績の状況4.0以上の者
 - 英語学科は英語の評定の平均4.0以上の者
 - ドイツ語学科は外国語の学習成績の状況3.5以上の者
 - フランス語学科は外国語の学習成績の状況3.5以上の者
 - 東アジア地域言語学科は外国語の学習成績の状況3.5以上の者

- **法学部**
全体の学習成績の状況3.0以上の者、さらに、国語の学習成績の状況3.5以上の者

- **経済学部**
全体の学習成績の状況3.0以上の者、さらに、次の要件を満たす者
- 経済学科は英語の評定の平均3.5以上の者
 - 産業経済学科は英語の評定の平均または数学の学習成績の状況3.5以上の者

- **商学部／商学部第二部**
全体の学習成績の状況3.0以上の者、さらに、国語の学習成績の状況3.5以上の者

- **理学部**
全体の学習成績の状況3.0以上の者、さらに、英語（英語コミュニケーションⅠ、Ⅱ、Ⅲ、論理・表現Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ）、数学（数学Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、数学A〔図形の性質、場合の数と確率〕、数学B〔数列〕、数学C〔ベクトル、平面上の曲線と複素数平面〕）、理科（物理基礎、物理または化学基礎、化学）を履修し、英語の評定の平均および数学、理科の学習成績の状況が3.5以上の者

- **工学部**
全体の学習成績の状況3.0以上の者、さらに、数学（数学Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、数学A〔図形の性質、場合の数と確率〕、数学B〔数列〕、数学C〔ベクトル、平面上の曲線と複素数平面〕）、理科（物理基礎、物理または化学基礎、化学）を履修し、数学および理科の学習成績の状況が3.5以上の者

- **スポーツ科学部**
全体の学習成績の状況3.0以上の者

問い合わせ 募集するスポーツ競技種目、競技成績に関する基準および令和8年3月高等学校卒業見込み以外の者の出願については学生課にお問い合わせください。

2 競技成績に関する基準

- 〈硬式・準硬式野球・ソフトボールを除く競技種目〉
- 全国高等学校総合体育大会、全国高等学校選手権大会、全国高等学校選抜大会、国民スポーツ大会（旧：国民体育大会）、ジュニアオリンピックカップおよびアスリート特別選抜委員会がそれらに相当すると認定した大会において、ベスト16以内、地区（九州大会規模）高等学校総合体育大会、地区（九州大会規模）高等学校選手権大会、地区（九州大会規模）高等学校選抜大会または高等学校新人選手権大会、地区（九州大会規模）国民スポーツ大会（旧：国民体育大会）およびアスリート特別選抜委員会がそれらに相当すると認定した大会において、ベスト4以内の個人および団体に所属し、試合に出場していた正選手。なお、団体競技については、全日本代表・同候補、全日本高等学校代表（全日本ジュニアを含む）、地区（九州大会規模）の強化指定選手、選抜選手も対象とする。ただし、陸上競技については、次の競技基準を満たした選手も対象とする。
- 男子 前年の10月1日以降に5,000m14分45秒以内、または1,500m3分57秒以内の日本陸上競技連盟公認記録を有する者。もしくは、前年の10月1日以降に全国高校駅伝およびその地区予選を含む日本陸上競技連盟公認コースの10kmロードレースにおいて31分00秒以内の日本陸上競技連盟公認記録を有する者
 - 女子 前年の10月1日以降に3,000m9分45秒以内、または1,500m4分45秒以内の日本陸上競技連盟公認記録を有する者。もしくは、前年の10月1日以降に全国高校駅伝およびその地区予選を含む日本陸上競技連盟公認コースの5kmロードレースにおいて16分45秒以内の日本陸上競技連盟公認記録を有する者

- 〈硬式・準硬式野球・ソフトボール〉
- 次の1、2いずれかを満たす者とする。
- 全国大会のベスト16以内、地区大会（九州大会規模）ベスト4以内のチームに所属し、試合に出場していた正選手
 - 県予選において、参加校100校以上の場合はベスト8以内、100校未満の場合はベスト4以内の成績を取ったチームの正選手で、50m走6秒2（ソフトボール女子は7秒8）以内、遠投80m（ソフトボール男子は65m、女子は55m）以上（ただし投手はこの限りではない）の者のうち、3年間の次の大会を通して投手は30イニング以上で防御率3.0以内、野手は30打席以上で打率2割8分以上の成績を有する者
- 対象大会は3年間の次の大会とする。
- ①秋季地区大会（九州大会規模）の県予選および大会
 - ②春季地区大会（九州大会規模）の県予選および大会
 - ③全国高等学校野球選手権大会の県予選
 - ④全国高等学校軟式野球選手権大会の県予選、地方予選および大会